

にのいのこみゅにけーしょん



(Drawn by Akino SASAKI)

鹿児島県に平川動物園があります。この動物園では、お客さんから動物園に対する意見をもらっています。ある日、「動物園の中のおいが気になる」という意見をもらいました。そこで、動物園の園長はホームページのブログで、考えを書きました。

病気にならないように、きれいな環境で動物を育てることは大切です。そのた

めに、いつも動物園の中を掃除しています。しかし、掃除をしても、動物の体のおいが残ることは仕方がないことです。

私たち人は、話したり読んだりして、つまり、主に耳や目を使ってコミュニケーションをしています。一方で、においを使ってコミュニケーションをする動物もいます。

イヌを散歩に連れて行くと、イヌは道のにおいをかいだり、電柱におしっこをして自分のにおいを残したりします。イヌは、おしっこのにおいによって、おしっこをしたイヌの性別、年齢、繁殖期（子どもを作るとき）かどうかなどがわかります。これは、においを使ったコミュニケーションなのです。

今は、テレビやインターネットで、簡単に動物を見ることができます。人は見たことがあると、知っている、わかったという気持ちになってしまいます。でも、見ただけでは、においはわからないでしょう。

同じ草を食べる動物でも、キリンとシマウマはにおいが違います。同じサル仲間でも、オランウータンとチンパンジーはにおいが違います。シカは繁殖期になると、特別なにおいがします。特に、オス（男）が強いにおいを出します。アシカは動物園では海の水ではなく、普通の水の中で暮らしていますが、「海においがする」と言う人もいます。

最近、家の中で消臭スプレーを使う人も多いので、生活のにおいが薄くなっているかもしれません。そのため、動物のにおいが苦手な人もいるでしょう。私が言いたいことは、「動物はすべていいにおいです」ということではなくて、「動物

のにおいには意味がありますよ」ということです。動物園では、見るだけではなくて、においもかいで、色々な感覚を使って動物を理解してください。

ところで、人はにおいによってどんなコミュニケーションをしているのでしょうか？ みなさんは、相手のにおいからどんなメッセージを受けていますか？

(911 字)

(2021.6 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「鹿児島市平川動物公園」ウェブサイト

<https://hirakawazoo.jp/>

(2021.6.30 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.